

情 報 公 開 文 書

研究の名称	Tomotherapy の MVCT 照合における観察者間のばらつきの検討
整理番号	R2018179
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学 附属病院放射線部 診療放射線技師長 森 光一
研究の概要	【研究対象者】 2018.4.1～2022.3.31 までに当院で Tomotherapy による前立腺治療を行った患者さん約 30 名を予定 【研究の目的・意義】 Tomotherapy（強度変調放射線がん治療装置）は、がん腫瘍の形が不整形で複雑な場合や腫瘍の近くに正常組織が隣接している場合でも、多くの放射線ががん腫瘍に当てることに特化した装置です。精度の高い治療を行うため、毎回照射前に MVCT（治療用の高エネルギー X 線による CT）を行っています。MVCT 撮影による位置照合は観察者の主観に影響を受ける可能性があり、観察者間におけるばらつきの程度を把握し、位置補正精度の検討を行います。 【研究の方法】 対象患者の過去の MVCT 照合データを用い、診療放射線技師 9 名と放射線治療医 1 名に再度照合を行ってもらいます。照合後の座標データより、観察者間で照合に有意差があるか検定を行い、また治療照射野の大きさと観察者間のばらつきに相関があるか検討を行います。 過去の保存済みデータを用いるため、本研究による治療の追加はなく、また、新たな被ばくの恐れもありません。 【研究期間】 2019 年 7 月 1 日～2022 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 日本放射線技術学会総合学術大会
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 （他機関への提供の有無）	Tomotherapy における過去の MVCT 照合データを用い、診療放射線技師 9 名と放射線治療医 1 名で再度照合を行います。照合後の位置座標より、観察者間での照合のばらつきや、治療照射野の大きさによるばらつきの相関性を検討します。（他機関への提供：なし）
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	国立大学法人 富山大学 附属病院放射線部 診療放射線技師長 森 光一
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	国立大学法人 富山大学 附属病院放射線部 診療放射線技師長 森 光一
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7814 E-mail kura@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学 附属病院放射線部 診療放射線技師 倉橋瀬那